

「新座洞道火災事故検証委員会」の概要

1. 構成員 (敬称略)

委員長	東京電力パワーグリッド (株) 武部 俊郎 (代表取締役社長)
副委員長	東京電力パワーグリッド (株) 金子 禎則 (取締役副社長) 江連 正一郎 (常務取締役) 塩川 和幸 (技監)
委員	<u>松浦 虔士 (大阪大学名誉教授)</u> <u>加藤 政一 (東京電機大学教授)</u> 東京電力パワーグリッド (株) 中人 浩一 (工務部長) 赤木 康之 (送変電建設センター所長) 石川 文彦 (経営企画室長) 中澤 太郎 (系統計画室長) 平家 明久 (業務統括室長) 今井 伸一 (系統運用部長) 大石 祐司 (埼玉総支社長) 矢島 達史 (志木支社長)
オブザーバー	東京電力ホールディングス (株) 企画室、ソーシャル・コミュニケーション室、広報室 東京電力パワーグリッド (株) 内部監査室、監査役業務室

※下線は社外専門家

※上記以外の専門家も現在調整中

2. 設置目的

2016年10月12日に発生した、新座洞道火災事故による大規模停電の発生を受け、社外専門家を交えた委員会を設置し、事故原因の究明等を行う。

3. 検証事項

- (1) 事故原因の究明
 - ・事故原因の特定と対策の確立
- (2) 都心導入システムの信頼性評価
 - ・都心導入システムの信頼性の評価とリスク回避策の検討
 - ・地中線洞道および流通設備のセキュリティー対策の充実
- (3) 情報発信体制の整備
 - ・情報発信の課題追究と体制の整備

4. 設置日

2016年10月17日